



新型コロナウイルスについて対談する富田理事長(左)と市村教授
=金大附属病院

【新型コロナウイルス】

パンデミック突入
「3条件」を重ねない

金大大学院先進予防医学研究科長

市村 宏教授

アクタス読者の皆さん、「ニコニコしながら100歳を目指そう!」と呼び掛けている金沢先進医学センター理事長の富田勝郎です。新型コロナウイルスによる新型肺炎が世界で猛威をふるっています。ニコニコしている場合じゃありませんね。新型は従来のコロナウイルスと何が違うのでしょうか。ウイルス感染症制御学を専門とする金大医学系の市村宏教授に、気をつけたいことを含めてお話を伺いました。

富田 世界保健機関(WHO)はついに「パンデミック」に突入したとして、各国にさらなる対応を呼び掛けましたね。パンデミックとは世界的な流行を指し、ギリシャ語のパン(すべて)とデモス(人々)に由来するそうです。WHOがこの表現と使うのは2009年の新型インフルエンザ以来、11年ぶりです。東京五輪も延期される事態となりました。市村先生はここまで感染が拡大すると、早くから予想しておられたのですか。

市村 新型コロナウイルスの発生源である中国(武漢)から、大勢の人が1月下旬の旧正月「春節」の長期休暇を利用して

海外に出国しました。この段階でWHOは緊急事態宣言に踏み切るかどうかの判断を保留していたので「これでは生ぬるい!」といきどおりさえ感じていました。グローバル化が進み、昔に

比べて、いつでもどこへでも頻りに人が往来する時代ですので。裏を返すと、感染症が世界に拡散するリスクは以前に比べて格段に高まっていると思っていました。

人類とウイルスの「戦争」

富田 新型コロナウイルスという敵は、まだまだ分からないことが多いですね。

市村 私は人類と未知のウイルスとの「戦争のようなもの」が起こっている、とみています。致死率は1〜2%ときほど高くはないので、ウイルスそのものが人を殺すというより、社

病)やスペイン風邪、エボラ出血熱などが流行しました。医学の目で人類の歴史を振り返ると、ウイルスとの戦いが幾度も繰り返されてきました。難敵ぞろいのウイルスたちですが、ウイルスは細菌と全くの別物なので、よね。

富田 かつてはペスト(黒死)か

まずサイズが違います。細菌は500分の1〜1000分の1ミリほどなのに、新型コロナウイルスは1万分の1ミリ程度とさらに小さいのです。また、細菌は栄養があれば自分で増殖できますが、ウイルスは生きた細胞の中に侵入し、寄生しないと増殖できません。

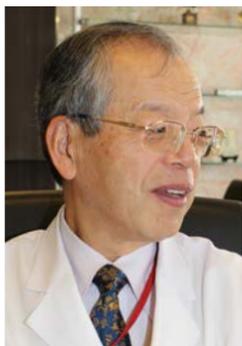
新型コロナウイルス感染症の経過



富田 細菌の大きさをカプトムシに例えたら、ウイルスは花の蜜を吸うアブラムシみたいなものです。肺炎も細菌性とウイルス性があります。それぞれで病態は異なるのですか。

か打つ手がありません。あとは自分の免疫力に期待するのみです。特に高齢の方や糖尿病、高血圧などの持病がある方は、もともと免疫力が低下しているので重症化する例が多いのです。

市村 一般の肺炎は細菌性ですので抗生物質が効きますが、ウイルス性の肺炎には、これらの薬は全く効きません。すなわち、今回のコロナウイルスによる肺炎が恐れられているのは、特效薬が見つかっていないからです。発症しても、現時点では症状に合わせた治療(対症療法)し



富田勝郎理事長

富田 私たちが日常生活で気をつけるべきことは、ズバリ何でしょうか。

市村 ①「換気の悪い密閉空間」で、②「人が密集」し、③「近距離で会話や発声」するというのが3条件が重なると、多くの人が一度に感染するリスクが高まります。逆に感染リスクを下げるには、これらの条件を重ねないことです。すなわち▼窓を開けて換気を行う▼他人との距離を1〜2メートル取る▼近くでの

これが空気中にしばらく漂うと考えられ、そこにウイルスが付着していればエアロゾルから感染する可能性はあると思います。

異常感じたら休む

会話を避けるかマスクを着用する、この3点を守ることが重要になります。

富田 十分に気をつけても、体調を崩すことはありますよね。急に熱っぽくなっても、これは一般的な風邪なのか、もしかして新型コロナウイルスなのかと不安に思う読者も多いでしょう。何かアドバイスをお願いします。

市村 少しでも体調に異常を感じたら、無理をせず早めに休み、体力を温存させてください。日本人にはどんな時も頑張るのが美徳という考えがありますが、今回は「頑張りすぎない」「無理しない」という考え方に切り替えてほしいのです。

富田 新型コロナウイルスに

富山発の薬に期待

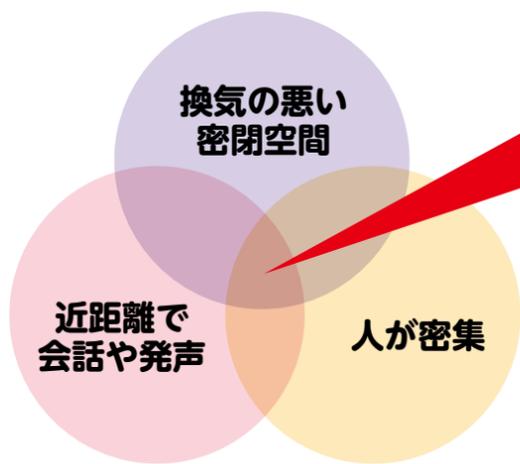
富田 特効薬開発の望みはありますか。

市村 目下、手探り状態です。「アビガン」というインフルエンザの薬が有効との実験結果が出ています。「富山発」の薬なので、個人的にも大変期待して

いるところです。

富田 2002〜03年に流行したSARS（サーズ）重症急性呼吸器症候群）、現在も患者の発生が続いているMERS（メーズ）中東呼吸器症候群）もみんなコロナウイルスです。今

注意すべき3条件



3つの条件が重なると多くの人が感染するリスクが高い

リスクを下げるには

- 窓を開けて換気
- 人と人の距離を1〜2メートル取る
- 近くでの会話を避けるか、マスクを着用



市村宏教授

回は、これまでのコロナウイルスに比べてどんな特徴があるのでしょうか。

市村 感染力が非常に強いのが特徴です。新型の致死率は1〜2%で、SARSの9・4%、MERSの34・4%に比べると低いのですが、細胞内に入り込んで寄生する能力が高いことがこれまでの研究で分かっています。新型はコウモリがかかるコロナウイルスが起源といわれており、SARSのウイルスに比較的近似しています。

富田 国内では、小中高校が一斉に休校するという思い切った措置が取られました。これにはいろんな意見があり、評価が今も分かれるところですが、市村先生は感染拡大防止に一定の効果があったとみていますか。

市村 3月現在、感染者が急増している欧州や米国などと比較すると、国内では感染者の増加がある程度抑えられています。不十分な点はあるにせよ、ある程度の効果はあったといえるでしょう。また、安倍晋三首相が2月下旬の段階でイベントの自粛を求めたことと併せて、新型コロナウイルスが「公衆衛生学的に非常に重要な問題」なのだ国民に広く認識させたことも、効果があったと思います。

富田 新型コロナウイルスは、せき、くしゃみなどで出るしぶきによる飛沫感染、相手に触れる接触感染で広がります。ここにかけて「エアロゾル感染」という言葉を聞くようになりました。エアロゾルとは何なのでしょう。

市村 空気中を漂う細かい水分の微粒子を指す用語です。せきなどで出るしぶきは1〜2メートルほど飛散しますが、重さにより、その後は落下します。ただ、しぶきよりも小さい微粒子をエアロゾルと呼びますが、

大村修一氏作 枝垂桜時絵白棗

高さ7.5寸 直径7寸



大村修一（おおむらしゅういち）
1987年石川県立工業高卒。輪島漆芸技術研修所卒業。97年兼六園大茶会工芸公募展最高賞受賞など。

万物萌えいずる春を迎えると、この一品の絢爛の意匠が脳裏によみがえります。

春まだ浅い日、満43歳にして逝った長男修一。満開の枝垂桜を繊細な筆遣いで描いた時絵漆器の遺作です。

これからの働き盛りに病に取りつかれ、施した医術空しく志半ばで天に上りました。

枝垂桜時絵白棗を3作遺して…。骨董を商う身の因果か、供養になればと茶道家の先生ら3個人に納め、用を果たしているようです。

大村昭男店主

鑑定眼



親が息子の遺作に値を付けるのは難しいものはありません。技巧から私情をささげず、20万円の価値があると見立てます。

細緻な筆で絢爛の意匠